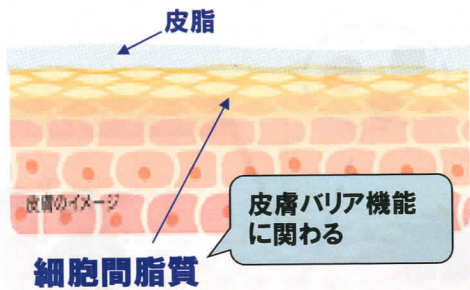
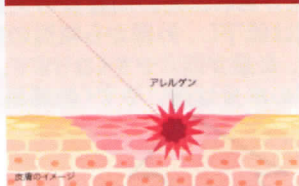


# ダームワン(Derm-1)



皮膚バリア機能が低下した皮膚



細胞と細胞の間の脂質が不足すると、アレルギーが皮膚内に侵入しやすくなり、皮膚炎をひきおこす

例えば、  
保湿系美容液  
(内部保湿)



## 【使い方】

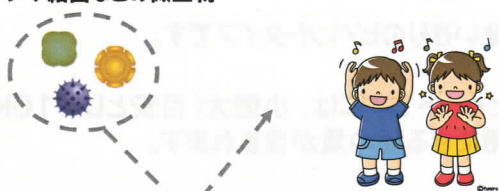
- ◆使いきりのピペットタイプです。
- ◆ピペット1本には、小型犬(目安として10kgまで)に使用できる程の量が含まれます。
- ◆患部すなわち状態の悪いところ(赤く炎症を起こしている、かゆみがある、フケが出ている)に直接数滴ずつつけてください。
- ◆つけた後、すりこむようにマッサージしてください。そのことでよりよく浸透します。製品は、皮膚の中でひろがって浸透します。
- ◆定期的なシャンプーとの併用が効果的です。その際には、シャンプー後の乾いた清潔な皮膚に使用するとよいでしょう。

ご不明点があれば、どうぞ私たちにご相談ください

秋山どうぶつ病院

健康な皮膚では・・・

アレルギーや細菌などの微生物



最表面の角層では角質細胞と細胞間脂質はレンガとセメントのように積み重なってバリアとして働き、外部から体を守っています。  
また、皮膚の水分が逃げないようにしています(保水力)

バリアが壊れた皮膚では・・・



細胞間脂質の欠損

炎症反応  
皮膚の乾燥

皮膚に異常があれば細胞間脂質の欠損が見られ、バリア機能は低下し、外部から物質の刺激や侵入を強く受け、炎症が起きやすくなります。さらに皮膚の水分は逃げやすく乾燥肌になります。

でも！！

ケガ・皮膚病・細菌感染など、さまざまな影響を皮膚バリアは毎日受けています。

- 最近、皮膚が赤くなっていますか？
- 最近、かゆがる仕草が多くなっていますか？
- 最近、フケの様なものが増えていますか？

☆健康な皮膚バリアで快適な生活を！☆

バリア機能に必要な成分の「セラミド」配合の「シャンプー」や「スポット剤」をご用意しています。お気軽にお問い合わせ下さい。